

消費生活相談 の現場から

<事例>

まちで「写真を撮らせてほしい」と声を掛けられた。「モデルに興味はないか」と聞かれたので、「やってみたい」と答え、「モデルをやるには脱毛が必要。100万円のアクセサリーの購入契約をすれば無料で脱毛エステティックが受けられる。契約後、一旦全額支払ってもらうが、会社が毎月分割して返金するので実質負担はゼロになる」と言われたので、その言葉を信じて契約してしまった。

アルバイトの収入しかなかったが、事業者から「実際の倍の年収を申告すれば全額カードで借りられる」と言われ、数社から合計100万円をキャッシングして支払った。初めの数回は事業者から返金されたが、それ以降は返金されない。担当者と連絡が取れなくなり、だまされたことに気づいた。

<アドバイス>

若い女性があたかも簡単にモデルになれるかのように言葉巧みに誘導され、多額の債務を背負わされるという被害が首都圏

—若い女性が狙われています！—
「モデルにならないか」と巧みに口説かれ多重債務に！



を中心に急増しています。アクセサリーの売買契約は実体のないその契約であり、アクセサリー販売業者・エステサロン・モデル事務所など複数の事業者と複数の人物が登場し巧みに役割分担をしてだまするのが特徴です。

事業者は消費生活センターとの交渉に応じず、まれに合意解約書が取り交わされたとしても実行されないという手法を繰り返しており、全く救済されていないのが現状です。

甘い誘いにはわなががあります。最近の悪質事業者はこのように手の込んだ勧誘をします。少しでもおかしいと思ったら消費生活センターに相談するようにしましょう。

問合せ 消費生活センター ☎ 495・6212 (相談専用)



清瀬の風俗や郷土文化、伝統などを写真やイラストとともに紹介します。

キヨセ ケヤキ ロードギャラリー 作品紹介その9

寒さ厳しいこの季節ですが、よく晴れた日のけやき通りは、澄んだ空気がより一層、景色を美しく見せてくれます。今回は、キヨセ ケヤキロードギャラリーの美しい女の子を紹介いたします。

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585

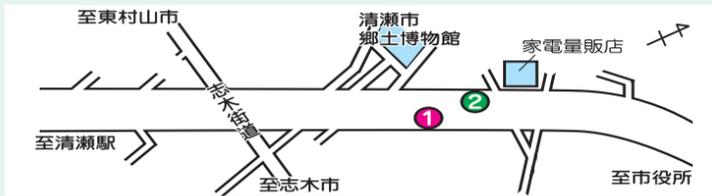
①「思ひ出」 1985年制作
ブロンズ
／横浜市山下公園に設置されている「赤い靴」の像も、「思ひ出」の作者山本正道氏による作品である。



【作者紹介】
山本正道 (1941～)

東京藝術大学彫刻科を卒業。平櫛田中賞、中原悌二郎賞優秀賞などを受賞した作家で、主に塑造により、独自の風景彫刻を手がける。

作品配置場所



②「亜古」 1964年制作
ブロンズ
作者の作品は具象彫刻の代表的な存在で、豊かな詩情を漂わせる洗練された造形美を醸し出している。



【作者紹介】
佐藤忠良 (1912～2011)

東京美術学校彫刻科を卒業。日本人として初めてフランス国立ロダン美術館で個展を開き、アカデミー・デ・ボザールの客員会員に推挙された。

地域の“チカラ” の向上プロジェクト

昨年末に行われたけやき通りの落ち葉清掃では、多くの市民の方にご協力をいただきました。また、その他の地域でも、道路にたまった落ち葉を自主的に清掃する姿も見ることができ、共助の力を感じることができました。

一方、昨年11月22日に発生した長野県北部地震は、震度6弱を記録した大きな地震でしたが、一人の死者も出ませんでした。

今回、被害が大きかった白馬村では、高齢者や幼児らが倒壊家屋の下敷きになりました。夜の遅い時刻にもかかわらず、すぐさま現場に駆けつけた近所の住民たちが、ジャッキなどで瓦礫を持ち上げて被災者を救いだしたため、一人の死者も出さずに済みました。地域の人たちが各世帯の家族構成を把握していなければ、瓦礫の下に取り残される人が出たかもしれません。

この救出劇は、普段からの「顔の見える」関係が、災害発生時の被害を小さくすることができます。

小さな「共助」から 大きな「共助」まで

大規模災害時には、行政機関の機能が麻痺するケースがあります。道路が寸断され、救援の到着が遅れることも想定されます。今回の災害をきっかけに、地域での「共助」の重要性を再確認させられました。

次回の各校区の円卓会議は下記のとおりです。地域コミュニティに参加してみたい方、地域の問題について話したい方など、どなたでも参加できます。

また、1月24日(土)の六小円卓では「親子で楽しむ餅つき大会」(雨天中止)を開催します。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください！

問合せ 企画課市民協働係 ☎ 497・1803

円卓会議の開催日程

- 四中＝1月19日(月)午後2時～、四中図書室
- 三小＝1月21日(水)午後6時～、三小被服室
- 六小＝1月24日(土)正午～午後1時30分、ベトレヘム学園(梅園三丁目)
- 七小＝決定次第、市のホームページでお知らせいたします。

健康ナビ

慢性腎臓病 (CKD) のお話

慢性腎臓病とは、長い年月をかけて徐々に腎臓が壊れていく病気です。そして、慢性腎臓病には原因となる病気があり、それが何年、何十年も前から治療もされずに見過ごされたために発症するのです。

その原因となる病気とは、

- ・ 高血圧
- ・ 糖尿病
- ・ 高尿酸血症
- ・ 慢性糸球体腎炎
- ・ 腎盂腎炎
- ・ IgA腎症
- ・ 腎結石
- ・ 肥満

などです。

25年ほど前は、慢性腎臓病が悪化し人工血液透析に入る方のもともとの病気の多くは、慢性糸球体腎炎とIgA腎症でした。しかし現在は、高血圧・糖尿病・肥満が原疾患であることが多くなっています。つまり、生活習慣病が原因ということです。

慢性腎臓病は、ほとんど無症状で、症状が現れた時は人工血液透析に入る時期であることが

非常に多いのが現状です。

たまたま市民健診や人間ドックを受け慢性腎臓病が見つかる頻度は高いのですが、「尿たんぱく陽性」や「血圧が高い」、「血糖が高い」などと言われても、症状がないため何年も放置されてしまいます。

そしてあるとき、「頭痛」「吐き気」「貧血」「体がだるい」「疲れやすい」などの症状で医療機関を受診し、血液検査で慢性腎臓病と診断され、「近々透析に入るかもしれない」と宣告されてしまいます。

健康推進課では、慢性腎臓病の早期発見のため、市が行っている健診で尿たんぱく陽性の結果が出た方に連絡を差し上げています。

この連絡は、皆さんの健康を保つための、とても大切なものです。連絡を受けた方は、ぜひ市の主催している腎臓病の勉強会に参加し、専門的な指導を受けてください。

(文＝一般社団法人清瀬市医師会)

問合せ 健康推進課健康推進係 ☎ 497・2076